

各位

2018年4月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務広報部（広報）担当：森川
TEL：03-6891-6839

旅行取扱状況の概観（平成30年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)、KNT 個人旅行、クラブツーリズム、KNT 北海道、KNT 東北、KNT 中部、KNT 関西、KNT 中国四国、KNT 九州、ユナイテッドツアーズ、KNT-CT グローバルトラベル、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比 113.4%と前年を上回り、学生団体は同 131.0%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同 117.4%と前年を上回った。企画旅行については前年比 113.0%と前年を上回り、個人旅行については同 105.2%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 111.8%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比 100.9%と前年を上回ったが、学生団体は同 96.3%と前年を下回り、団体旅行合計で同 98.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比 100.5%と前年を上回り、個人旅行については同 95.6%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 99.1%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比 109.0%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比 104.5%となり、前年を上回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、職場旅行などの取扱人数の増加や「第23回オリンピック冬季競技大会（2018/平昌）」の取扱により前年比 113.4%と前年を上回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数の増加のほか、修学旅行外においてヨーロッパ方面の増加による取扱単価の上昇などにより、前年比 131.0%と前年を大幅に上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 117.4%と前年を上回った。企画旅行については、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、マイクロネシアや台湾方面などが前年を下回ったが、ハワイやオセアニア方面などが好調に推移し前年を上回り、取扱額で前年比 108.0%と前年を上回った。クラブツーリズムはアメリカ東海岸やスペイン、ドイツ方面など低調な方面があったが、アメリカ西海岸やカナダ、オセアニアなどが好調に推移した。また、商品別ではロイヤル・グランステージやテーマ旅行が牽引し、取扱額で前年比 114.5%と前年を上回った。この結果、海外企画旅行で前年比 113.0%と前年を上回った。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 111.8%と前年を上回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、団体や視察旅行などは前年並となったが、中国の春節の影響による訪日旅行客数の増加を受け、個人旅行の宿泊やツアーが好調に推移したことにより、前年比 109.0%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、企業系コンベンションなどの取扱人数の減少があったが、SIT型旅行や招待旅行などの増加により、前年比 100.9%と前年を上回った。学生団体は、スキー教室などの取扱人数が増加したが、修学旅行などの取扱人数が減少し、前年比 96.3%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行で前年比 98.6%と前年を下回った。企画旅行については、メイトは方面別取扱人数の状況で、東北や関西、九州方面などが好調に推移し、取扱額で前年比 102.0%と前年を上回った。クラブツーリズムは、バス旅行を除く国内旅行部門は札幌の雪まつり商品や流水商品などが牽引した北海道や北関東、南関東、中部、四国などが堅調に推移したが、バス旅行部門も含め、北陸を中心とした雪害や草津白根山の噴火、蔵王の噴火レベルの引き上げなど自然災害によるツアー取消やツアー申込みの減退の影響を受け、取扱額で前年比 99.0%と前年を下回った。この結果、国内企画旅行で前年比 100.5%と前年を上回った。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 99.1%と前年を下回った。

以上